

北小「こ」と「ぼ」の時間

五月の暗唱課題

五月の暗唱課題は、「小林一茶の俳句」です。リズムにのって覚えましょう。

こばやしいつき はいく

『小林一茶の俳句』

やせがえる

いつき

これ あり

瘦蛙 まけるな一茶 是に有

すずめ こ

おうま とお

雀の子 そこのけそこのけ 御馬が通る

うつ

はえ

て

あし

やれ打な 蠅が手をすり 足をする

う そ

ゆき

わ

わ

かな

むまさうな 雪がふうはり ふはり哉

めいげつ

と

な

こ かな

名月を 取ってくれろと 泣く子哉

【参考】

①かえるがけんかをしている。やせたカエルよ、がんばれ負けるな。わたし（一茶）がここについているぞ。

②道に遊んでいるすずめの子よ、そこを早くのけよ。お馬が通るからあぶないぞ。

③ほら、ハエが手足をすりすりさせている。まるでおがんでいるようでおもしろい。かわいそうだから打たないでやってくれ。

④ふわりふわりと雪が落ちてくる。いかにもうまそうだ、食べてしまいたい。

⑤秋の夜空にまるい月。それを見て、親の背中におぶされた子どもが、「あの月を取ってくれ」と泣きながらだをこねている。